

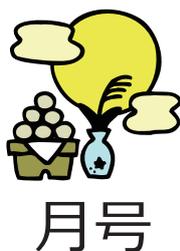
# 図書館通信



豊かな時間を図書館で

令和元年  
(2019年)

9



月号

第462号 (第38巻第6号)

## 【目次】

P 1	3階閲覧席のご案内	P 6	職員コラム
P 2	行事と展示のお知らせ	P 7	職員のおすすめ本
P 3	事業報告	P 8	新着図書案内
P 4	アーニス分館だより	P 12	カレンダーとお知らせ、 図書館施設のご案内
P 5	市民のひろば		

編集・発行 登別市立図書館

URL <http://www.noboribetsu.ed.jp/~iinkai/library/>

〒059-0012 登別市中央町5丁目21-1

E-mail [toshokan@city.noboribetsu.lg.jp](mailto:toshokan@city.noboribetsu.lg.jp)

電話 (0143) 85-4324 FAX (0143) 85-4325

## 3階閲覧席のご案内

7月4日から11日までの蔵書点検期間中に行った防火壁の設置工事に伴い3階閲覧席のレイアウトが変わりました。

以前は吹き抜けから館内の音が3階まで聞こえていましたが、防火壁が出来たことで音が届きづらく静かになり、読書や勉強などがしやすい落ち着いた学習スペースになりました。



また、閲覧席とは別にテーブルとイスを設置しました。3階閲覧席フロアでは、12時から14時に限り持ち込みのお弁当などを食べることが出来ます。また蓋が出来るものであれば飲みものも構いませんので休憩の際にぜひご利用ください。

職員の呼び出しボタンも設置いたしましたので、なにかありましたらご利用ください。

以前より明るく過ごしやすくなった3階閲覧席をどうぞご利用下さい。

# 映画会

※会場はどちらも図書館3階会議室です。  
入場無料でどなたでもご覧いただけます！

## 今月は7日です！（毎月第1土曜日開催）

- こども映画会** 「三ねん寝太郎」（アニメ 40分）  
10時30分～ ◎怠け者と言われていた寝太郎が、村のために突然頑張り出す昔話をもとにしたアニメ。
- 名画鑑賞会** 「路地へ 中上健次の残したフィルム」  
13時30分～ （ドキュメンタリー 64分）  
◎作家・中上健次が記録した故郷の風景と、中上作品に登場する風景を巡って旅をするドキュメンタリー。

## おはなし会

※会場：図書館1階えほんのへや  
※入場無料、申込は不要です。

- ① **えほんのへやのおはなしかい**（絵本や紙芝居の読み聞かせ）  
日時 9月14日（土） 14時より **※毎月第2土曜日**
- ② **おはなしぽけっと**（絵本や紙芝居の読み聞かせ、エプロンシアターなど）  
日時 9月28日（土） 13時30分より **※毎月第4土曜日**



## ロビー展示

※会場は各施設1階ロビーです。  
入場無料でどなたでもご覧いただけます！

★まもなく開催！➡



### 「年長児の読書感想画作品展」

- 図書館本館 9月1日（日）～9月14日（土）  
幌別地区の作品を展示  
（登別カトリック聖心幼稚園、白菊幼稚園、富士保育所、幌別東保育所）
- 鷺別公民館 9月1日（日）～9月14日（土）  
鷺別地区の作品を展示  
（リリー文化幼稚園、鷺別保育所、栄町保育所）
- 登別婦人センター 9月1日（日）～9月7日（土）  
登別地区の作品を展示（コロポックルの森）

★まもなく開催！➡



### 「自殺予防に関する展示」

- 登別市では「生きることを支え合う自殺対策条例」を道内で初めて施行しました。また、「登別市自殺対策行動計画」を策定し、全市を挙げて自殺予防に取り組んでいます。図書館では、こころの健康などに関する本を展示します。
- 会場：図書館本館  
期間：9月18日（水）～10月5日（土）  
主催：登別市保健福祉部健康推進G・登別市立図書館

## 事業報告

### 「夏休み工作」を開催しました



7月27日（土）の夏休み工作「クワガタキャッチャーをつくろう」は、13名が参加してくれました。

最初にすべてのパーツを切ったあと、色違いのシールで示された貼り合わせ箇所を確認しながら組み立てていきました。

はじめに両面テープを剥がしてしまったり、スポンジをつかむ「動くあご」の仕組みに苦労する場面もありました。しかし、最後は、用意されたシールやマスキングテープを上手にを使って仕上げしており、完成作は、みな個性があふれる逸品ぞろいとなりました。

なお、今回は6月から活動を開始した「図書館サポーター」のみなさんにもご協力いただき、スムーズに進行することができました。

また、サポーターさん達からも「とても楽しかった」との感想が聞かれました。ご協力いただきありがとうございました。

<作業中のみなさん>



<完成品>



### 「プログラミング教室」を開催しました

7月20日（土）から8月17日（土）まで、全5回の連続講座となるプログラミング教室を開催しました。

この講座は、小・中学生を対象としてプログラムの基本を学ぶもので、今年6月に発足した「登別市立図書館市民活動サポーター（略称：図書館サポーター）」による企画提案事業の第1弾です。

残念ながら全5回を皆勤賞で修了した方はいませんでしたが、講座を企画し自ら講師も務めていただいた笹岡孝好さん（図書館サポーター）が各回の内容を振り返りながら進めてくださり、最終回では「scratch」でのプログラミングを体験しました。

今後も図書館サポーターによる様々な企画講座を開催する予定です。詳細は図書館通信でお知らせします。また、図書館サポーターも随時募集しています。企画講座のご提案もお待ちしています。図書館へお気軽にお越しください。



# アーニス分館だより

## アーニス分館では

- \* 「今月のおすすめ」の展示を行っています。
- \* オンライン・データベースを利用できます。
- \* DVDを視聴できます。
- \* 見やすい大活字本もあります。
- \* 雑誌の最新号の一夜貸しを行っています。
- \* **新聞コーナーでは読売新聞と室蘭民報を**  
ご覧いただけます。

♪ 新着図書コーナーが移動しました ♪



館内のレイアウトが変わり、新着図書コーナーの場所が変わりました。

入口から入り左正面の柱に設置しました。

展示スペースも広くなり、より見やすくなりました。

また本を選びながらちょっと腰かけられる椅子も用意しています。

どうぞお気軽にご利用下さい。



## 《新刊おすすめ本紹介》



**食べつなぐレシピ／按田優子著／家の光協会**



大根、白菜、キャベツなどをまるごと、捨てる部分を出さないように、ちょっと手をかけて、なるべく長くおいしく保存して「食べつなぐ」知恵を多数紹介。著者の考えを綴った「冷蔵庫を捨てたこと」「世界の食の共通点と差違」等の文章も収録。



冷蔵庫を捨てる話は、引っ越して、冷蔵庫を使いたくなる話へ続きます。バーベキューの後始末にもまめまめしく塩漬けをしていたり、JICAに参加してペルーのアマゾンに滞在して食の事情に触れたり、などなどエピソードも満載です。



## インターンシップ感想

8月1日・2日、13日・14日に各1名、登別市立図書館でインターンシップが行われました。それぞれ体験后感想を頂きましたので紹介します。

### 登別青嶺高校 前田さん

●今回のインターンシップを通して図書館での仕事が自分の想像と全く違ってとても驚きました。特にブックスタート(\*1)で小さな子供に読み聞かせをするのがとても緊張して大変でした。他に本の貸出・返却だけではなく、本の受入や修理などやることが沢山あり大変でした。けれども、どれも初めての体験でとてもいい経験になったと思います。



### 日本工学院北海道専門学校 石澤さん



●重い本を持って動くなど思っていたより体力を使う作業が多く大変なこともありましたが、貸出・返却などのカウンター業務や本の受入など図書館での仕事は全て楽しんで行えました。今回のインターンシップでライブラリースタート(\*2)を行っていることなど、自分の知らない登別市立図書館の魅力に気が付くことが出来ました。また図書館での仕事はやりがいがあり魅力的だと再認識しました。

あり魅力的だと再認識しました。

自分自身にとって、とても実りのある2日間でした。本当にありがとうございました。

- \*1・健診時などの機会に絵本をプレゼントし、絵本をひらくたのしさを体験してもらう活動。登別市では4か月健診時に登別市総合福祉センターしんた21で行っています。
- \*2・さまざまな物事に興味を持ち始める3歳児に、自分の興味や関心のある本を選んでもらい登別市より本をプレゼントする活動。図書館や本に触れ合う機会作りとして行っています。

\*前田さん石澤さん、暑い中2日間お疲れ様でした。

図書館では毎年定期的にインターンシップ・職業体験の受け入れを行っています。慣れない仕事でお待たせすることもあるかと思いますが、温かく見守っていただけますよう、よろしくお願いいたします。

## 「1時間30分に最適な本」

飛行機が苦手です。

どこにも逃げられない空間、不規則に揺れる機体など苦手な理由はいろいろあり出来れば乗りたくないのですが、旅行など遠方に出かける際など乗らないわけにはいかない場合が多々あります。飛行機が苦手だと伝えるとよく「眠っていればいいのでは？」と言われるのですが、乗る際は極度の緊張の中にいるので眠れません。以前眠れるかと思い飛行機に乗る前にアルコールを飲んだ事がありますが、緊張と酔いがとで気持ちも悪いし眠れもしないしでひどいことになりました。そのため私が飛行機に乗る際には飛行中の気を紛らわせるための本が必須となります。

先日も飛行機に乗る機会があり、席に着くとすぐに本を読み始めました。幸いなことに天気も良く、機体もあまり揺れず、本も面白く快適に時間は過ぎていきました。本を読み終わるまでは。

なんと本が面白くすらすらと読めてしまったために1時間で読み切ってしまったのです。着陸までの残り30分、そこからが地獄でした。離陸までの間に1度目を通していた機内誌を再度手に取ってみますが、内容は頭に何も入ってきません。読んでいた本を読み返してみるも、読んだばかりで流れが頭に入っているため10分で読み終わってしまいました。その後は本を握ったまま着陸まで飛行機の天井を見ながら時間が過ぎるのを待ちました。(飛行機の窓から景色を見ることはしません。怖いので！)

行きがあれば帰りもあります。帰りの便では先の反省を活かし、行きで読んだ本の1・5倍の文章量の本を用意しました。その甲斐あってか、帰りの便では着陸予定時間ぴったりに読み終わることが出来ました。ただし、帰りの便は天候が悪く客室乗務員さんも席に座らなければいけないほど機体が揺れました。さらに着陸許可待ちのため15分ほど飛行場の上で待機する時間があり、調度よい時間で本を読み終えたはずが快適な飛行時間とはなりませんでした。

何度も飛行機には乗っているのですが、本選びは毎回頭を悩ませます。持ち歩きがたいへんなので文庫か新書の本にすることだけは決めているのですが、行きの本のよきに面白ければすぐに読み終わってしまうし、苦手なジャンルの本にすると上手く本の世界に入っていけず時間が全然進みません。

どんな本を持っていくのか…今後も悩む時間が多そうです。



(\*ちなみに今までで一番飛行機で読むのに合っていた本は「村上さんのところ」村上春樹著・新潮社発行の文庫版です。473の質問・相談に村上春樹が答えた内容が一問一答形式で掲載しており、どこから読んでもよく適度に厚みもありこの本のときは行きと帰りが1冊で済みました。ただし読み返すと早く読んでしまえるので、もう持っていくことはありません。)

「スケッチブック — 供養絵をめぐる物語 —」

ちば るりこ 著 / シライ ユウコ 絵 / 学研プラス



岩手県遠野の地に、死者を描く「供養絵」という不思議な風習があり、古くは江戸時代から存在しているそうです。

この本は、小学校6年生の紗理奈という少女が亡き母の故郷でその風習に出会い、ある出来事からやめていた絵を介しながら少しずつ心を再生させて成長させていく、ひと夏の物語です。

何かの絵を描くというのはとても楽しくて反面物凄く神経を使い、人によっては納得がいくまで筆を走らせてしまうものだと思います。

ですから、「供養絵」という生前の姿を生き生きと描く絵には、亡くなった方の人生を細部まで知り、遺族の思いも一緒に織り交ぜるといったとてもエネルギーのいる作業が伴うと思うのです。

その絵を描き完成させた時、その絵を依頼し贈られ時、亡き人を思う心が共鳴し合い感情が溢れ出る姿が、主人公の少女の思いを通してとても丁寧に描かれた、大人の方にとっても充分読み応えのある物語になっています。ぜひご一読ください。

第26回小川未明文学賞大賞受賞の児童向け作品です。

北海道に関する本

「ひまなこなべ アイヌのむかしばなし」

萱野 茂文 / どい かや 絵 / あすなる書房



むかしから語り継がれてきたアイヌの物語にはたくさんの大切な教えが詰まっています。

熊の神様が、ヒグマの姿をかりてアイヌの世界へやってきて、熊送りの宴を楽しむ様子と、こなべ（小さい鍋）の神様が楽しげに踊る姿などがかわいらしい絵本で描かれています。

万物に宿る神（カムイ）への感謝の気持ちがあらわれたむかしばなしです。

# 新 着 図 書 案 内 令 和 元 年 9 月 No.1

●印は今評判の本です。(電話やメール・ホームページでも予約を受け付けています)

書 名	著 者	書 名	著 者
<b>0 総記</b>		渋沢栄一 「日本近代資本主義の父」の生涯	今井 博昭
ベストセラー伝説	本橋 信宏	● アインシュタインの旅行日記	アルバート・ アインシュタイン
異端者たちが時代をつくる 諦めばかりの 現代社会を変えた6つの勇気物語	松井 清人	Re北海道 旅の楽しさ再発見大人のガイド	昭文社
今すぐ使えるかんたんノートパソコン入門 改訂2版	門脇 香奈子	るるぶ広島宮島 尾道 しまなみ海道 呉 '20	JTBパブリッシング
今すぐ使えるかんたんExcel完全(コンプ リート)ガイドブック困った解決&便利技	AYURA	山陰 鳥取・松江・萩 '20	昭文社
ベストセラー全史 現代篇	澤村 修治	はじめてフィンランド	トナカイフサコ
現代用語の基礎知識 平成編	自由国民社	対談戦争とこの国の150年 作家たちが考 えた「明治から平成」日本のかたち	保阪 正康ほか
● 新聞という病	門田 隆将	牡蠣の森と生きる 「森は海の恋人」の30年	畠山 重篤
インターネットで文献探索 2019年版	伊藤 民雄	へんな名湯	岩本 薫
● 小説という毒を浴びる 桜庭一樹書評集	桜庭 一樹	諡 天皇の呼び名	野村 朋弘
たったの10分!「プチ速読」で読書スピー ドが2倍になる	池江 俊博	発掘された日本列島 2019	文化庁
著作権法のしくみ	デイリー法学選書 編修委員会	物語ナイジェリアの歴史 「アフリカの巨人」の実像	島田 周平
あなたがセキュリティで困っている理由	辻 伸弘	元号読本「大化」から「令和」まで全248 年号の読み物事典	所 功ほか
<b>1 哲学・宗教</b>		平成時代	吉見 俊哉
いつも自分のせいにする罪悪感がすーっ と消えてなくなる本	根本 裕幸	● 明治を食いつくした男 大倉喜八郎	岡田 和裕
● 妻語を学ぶ	黒川 伊保子	● 世界の秘密都市	ジュリアン・ ビークロフト
● 「身軽」の哲学	山折 哲雄	ニッポン10大トレイル	シエルパ齊藤
みるみるつながる仏像図鑑	三宅 久雄監修	<b>3 政治・経済・社会・教育</b>	
算命学占い入門 増補版	中村 嘉男	食べられる虫ハンドブック	内山 昭一監修
「やめられる人」と「やめられない人」の習慣	大平 信孝	女に生まれてモヤってる!	ジェーン・スー/ 中野信子
悩む人 人生相談のフィロソフィー	高橋 秀実	イラストでわかる怒らずのばす育て方	篠 真希
なる仏教する仏教 猫でもわかる仏の教え	矢玉 四郎	「いいね!」戦争	P. W. シンガー/エマー ソン・T.ブルッキング
「かわいい」のちから	入戸野 宏	明治・大正・昭和日本人のアジア観光	小牟田 哲彦
ひとりで、考える 哲学する習慣を	小島 俊明	親を老人ホームに入れようと思った ときに読む本	小嶋 勝利
● すごい論語	安田 登	これでわかる学習障がい	小池 敏英・ 奥住 秀之監修
<b>2 歴史・地理</b>		国家公務員の仕事図鑑	公務員試験 予備校EYE
0から学ぶ「日本史」講義 中世篇	出口 治明	未来の地図帳	河合 雅司
知られざる弥生ライフ	譽田 亜紀子	江戸入門 大人の教養図鑑	山本 博文監修
明治日本写生帖	フェリックス・レガメ	セルフネグレクトと父親	石川 瞭子
「文藝春秋」にみる平成史	半藤 一利監修	日本の天井 時代を変えた「第一号」の女たち	石井 妙子
1時間でわかるアイヌの文化と歴史	瀬川 拓郎監修	気づけない毒親	高橋 リエ
● 女たちのアンダーグラウンド 戦後横浜の光と闇	山崎 洋子	65歳超入門	川越 雄一
人事の三国志	渡邊 義浩	マリー・アントワネットは 何を食べていたのか	ピエール=イヴ・ ボルペール

# 新 着 図 書 案 内 令 和 元 年 9 月 No.2

広報のほりべつでも新着図書の紹介をしています。

書 名	著 者	書 名	著 者
ふるさとって呼んでもいいですか 6歳で「移民」になった私の物語	ナディ	<b>4 自然科学・医学</b>	
地域をまわって考えたこと	小熊 英二	女性の薄毛美髪バイブル	梶田 尚美
武器としての世論調査	三春 充希	● 恐竜まみれ	小林 快次
宮本常一 伝書鳩のように	宮本 常一	脳神経内科医が書いた誰も 知らなかっためまいの治し方	佐藤 裕道
ルポ「断絶」の日韓	牧野 愛博	ハンビロコウのすべて	今泉 忠明監修
● なぜ、男子は突然、草食化したのか	本川 裕	身近な生き物オス・メス「見分け方」事典	木村 悦子
● 女たちのテロル	ブレイディみかこ	皮膚はすごい	傳田 光洋
習近平の敗北	福島 香織	● 漫画むかわ竜発掘記	土屋 健 企画・原案
北朝鮮外交秘録 三階書記室の暗号	太 永浩	中村元の全国水族館ガイド125	中村 元
サウジアラビア、オアシスに生きる 女性たちの50年	縄田 浩志	糸を出すすごい虫たち	大崎 茂芳
ハーバードの日本人論	佐藤 智恵	安楽死を遂げた日本人	宮下 洋一
ジェインズヴィルの悲劇 ゼネラルモー ターズ倒産と企業城下町の崩壊	エイミー・ ゴールドスタイン	DVDつき心と体を癒す手のひら マッサージ 新版	池田 明子
アイヌ童話集	金田一 京助・ 荒木田 家寿	毛細血管を増やして不調をなくす暮らし方	根来 秀行
養子縁組を考えたら読む本	シェリー・ エルドリッジ	子どもと親のためのワクチン読本 最新改訂版	母里 啓子
● アイヌのごはん 自然の恵み	藤村 久和監修	「痛み」も「コリ」も首次第	島崎 広彦
「うんこ」が無理なく出る介護	浅野 洋藏	フィールド図鑑日本のウミウシ	中野 理枝
獣医学部 中高生のための学部選びガイド	斉藤 智	やせる出汁 1日1杯飲むだけダイエット	工藤 孝文
日本の民俗信仰を知るための30章	八木 透	鎌田式「スクワット」と「かかと落とし」	鎌田 實
呪いの言葉の解きかた	上西 充子	この数学、いったいいつ使うこと になるの？	Hal Saunders
心が折れそうな夫のための モラハラ妻解決BOOK	高草木 陽光	人生100年、長すぎるけどどうせなら 健康に生きたい。	藤田 紘一郎
ドキュメント「働き方改革」	澤路 毅彦ほか	● 科学者は、なぜ軍事研究に手を 染めてはいけないか	池内 了
世界地図を読み直す	北岡 伸一	ルポ人は科学が苦手	三井 誠
黒の服飾史	徳井 淑子	<b>5 技術・工業・家事</b>	
副業で稼ぐ！と決めたら読む本	中山 マコト	ナチュラルおそうじ大全	本橋 ひろえ
僕とぼく 妹の命が奪われた「あの日」から	川名 壮志	10分で2品！ やせる糖質オフレシピ	前川 智監修
図説ヴィクトリア朝の女性と暮らし	川端 有子	料理家ワタナベマキが家族のために 作るごはん	ワタナベ マキ
キャッシュレス国家 「中国新経済」の光と影	西村 友作	樋口愉美子の動物刺繍	樋口 愉美子
官邸官僚 安倍一強を支えた側近政治の罪	森 功	肉炒め 毎日頑張っているあなたへ。 とにかく簡単に作れるレシピです。	堤 人美
● 〈性〉なる家族	信田 さよ子	これでいいんだ！ 自炊ごはん	市瀬 悦子
入門図解会社で使う労働時間・休日・休 暇・休職・休業の法律と書式	小島 彰監修	アイスの旅	甲斐 みのり
日本の異国 在日外国人の知られざる日常	室橋 裕和	和布で作りたい季節の飾り物&こもの	ブティック社
マキアヴェッリ 『君主論』をよむ	鹿子生 浩輝	女の子の夏の手作りワンピース 90・100・110・120cm	ブティック社
● 性と欲望の中国	安田 峰俊	全身1万円以下で“きちんとして 見える” 毎日しまむらコーデ	しまりんご

# 新着図書案内 令和元年9月 No.3

●印は今評判の本です。(電話やメール・ホームページでも予約を受け付けています)

書名	著者	書名	著者
<b>5 技術・工業・家事</b>		津軽海峡物語 津軽海峡圏構想の現実的可能性を探る	鈴木 克也
ズドン!とウマイやっこ豆腐	きじま りゆうた	● 札幌の路面電車100年	北海道新聞社
はじめてのフェズ刺繍	アタマンチャック 中山奈穂美	暴走するネット広告	NHK取材班
Zoozのフェルトモビール&ガーランド	Zooz	海上物流を支える若者たち	森 隆行
これ一冊ではじめる!日曜大工 最新版	山田 芳照	超図解野菜の生育診断&回復ワザ	『やさい畑』 菜園クラブ
おくすり晩酌	大友 育美	里山食堂が教える果樹の収穫・保存 ・料理	西東社編集部
できるWordPress	星野 邦敏	48歳からのスマホ入門 アンドロイド対応	リブロワークス著
● 暮らしのもやもやを、整える	主婦と生活社	ポイント&スマホ決済&電子マネー 完全攻略ガイド	クレナビ管理人
クリームのことがよくわかる!お菓子の本	坂田 阿希子	平成・普通切手総図鑑	郵趣サービス社
フルーツパトロール	伊藤 まさこ	<b>7 芸術・スポーツ</b>	
食べつなぐレシピ	按田 優子	eスポーツのすべてがわかる本	黒川 文雄
お豆腐屋さんのとうふレシピ 令和版	もぎ豆腐店	● 失われた芸術作品の記憶	ノア・チャーニイ
ステーキを作る60代からのソーイング vol. 3	ブティック社	かんたん楽しい手づくりカードBOOK 増補改訂版	やまもと えみこ
最高のチャーハン50	しらい のりこ	● かこさとしの世界	平凡社
地球をめぐる不都合な物質	日本環境化学会	もっと知りたい村山槐多	村松 和明
すぐできるあってよかった今夜の おかず110	婦人之友社編集部	走る奴なんて馬鹿だと思ってた	松久 淳
パウンドケーキの本	田中 博子	● 原田マハの印象派物語	原田 マハ
日本の中のインド亜大陸食紀行	小林 真樹	イソップ絵本はどこからきたのか 日英仏文化の環流	加藤 康子ほか
主婦のミシンおもしろい仕掛けの 布こもの	主婦のミシン	ショーケン最終章	萩原 健一
農家ごはん旬野菜レシピ	枝元 なほみ	日本懐かし駄玩具大全	堤 哲哉
にっぽん醤油蔵めぐり	高橋 万太郎	台風一過	植本 一子
あなたの知らないレトルトカレーの アレンジレシピ	一条 もんこ	友情 2 平尾誠二を忘れない	山中 信弥
ぬか漬け帖	有元 葉子	美空ひばり恋し お嬢さんと私	関口 範子
看板建築 昭和の商店と暮らし	萩野 正和監修	那須雪崩事故の真相	阿部 幹雄
フェイクウェブ	高野聖玄/セキュリ ティ集団スプラウト	手塚治虫とトキワ荘	中川 右介
● プラスチック・フリー生活	シヤンタル・ プラモンドン	忍者の精神	山田 雄司
家事のワンオペ脱出術	佐光 紀子	オリンピックの輝き	佐藤 次郎
すっきり見えて心地よいチュニック& パンツ	NHK出版	<b>8 言語</b>	
世界一やさしい宅トレダイエット	mu	ポジティブになれる英語名言101	小池 直己・ 佐藤 誠司
はじめてママへやさしく作れる 赤ちゃん小もの	朝日新聞出版	読みたいことを、書けばいい。	田中 泰延
<b>6 産業・商業</b>		日本語「標準形(スタンダード)」の歴史	野村 剛史
夕陽に赤い町中華	北尾 トロ	先人の知恵を今に生かす四字熟語図鑑	佐藤 友樹監修
ブルートレイン大図鑑 客車寝台特急の57年	「旅と鉄道」編集部	● 本当の翻訳の話をしよう	村上 春樹・ 柴田 元幸

# 新 着 図 書 案 内 令 和 元 年 9 月 No.4

広報のほりべつでも新着図書の紹介をしています。

書 名	著 者	書 名	著 者
913 日本の小説		笑え、シャイロック	中山 七里
● 生のみ生のままで 上・下	綿矢 りさ	初恋さがし	真梨 幸子
あとは切手を、一枚貼るだけ	小川 洋子・ 堀江 敏幸	キュー	上田 岳弘
● 緋の河	桜木 紫乃	● 旅は道づれきりきり舞い	諸田 玲子
百の夜は跳ねて	古市 憲寿	● 育休刑事(デカ)	似鳥 鶏
いつかの岸辺に跳ねていく	加納 朋子	● つみびと	山田 詠美
● ノーサイド・ゲーム	池井戸 潤	アタラクシア	金原 ひとみ
119	長岡 弘樹	刑事の慟哭	下村 敦史
とむらい屋颯太	梶 よう子	9 その他の文学	
愛を知らない	一木 けい	旅ドロップ	江國 香織
● 月人壮士(おとこ)	澤田 瞳子	● じじばばのるつぼ	群 ようこ
待ち遠しい	柴崎 友香	天邪鬼のすすめ	下重 暁子
● K2 復活のソロ	笹本 稜平	わが人生に悔いなし	なかにし 礼
● 炎天夢(東京湾臨海署安積班)	今野 敏	さわこのじてん	今 美幸・ 今 佐和子
● むらさきのスカートの女	今村 夏子	いくつになっても	中野 翠
● 美しき愚かものたちのタブロー	原田 マハ	1分音読「万葉集」	齋藤 孝
コイコワレ	乾 ルカ	● 寂聴先生、ありがとう。	瀬尾 まなほ
キャバレー	ビートたけし	失われた近代を求めて 上・下	橋本 治
● あなたの右手は蜂蜜の香り	片岡 翔	ある作家の夕刻 フィッツジェラルド後期作品集	スコット・ フィッツジェラルド
● 動乱の刑事	堂場 瞬一	ぼくたちが選べなかったことを、 選びなおすために。	幡野 広志
トロイメライ	村山 早紀	チョコレート・ガール探偵譚	吉田 篤弘
目撃	西村 健	● みらいめがね それでは息がつまるので	荻上 チキ・ ヨシタケ シンスケ
スーパー北斗殺人事件	西村 京太郎	国語教師	ユー・デイト・ W. タシュラー
うちの旦那が甘ちゃんて 3・4	神楽坂 淳	田舎の未来 手探りの7年間とその先について	さの かずや
竜は動かず 上・下 奥羽越列藩同盟顛末	上田 秀人	女の偏差値	林 真理子
● ライフ	小野寺 史宜	女はいつも四十雀	
誰そ彼の殺人	小松 亜由美	● 戦争が立っていた 戦中・戦後の 暮しの記録 拾遺集戦中編	暮しの手帖社
酔芙蓉	篠 綾子	百鬼園戦前・戦中日記 上・下	内田 百間
織田一の男、丹羽長秀	佐々木 功	平安ガールフレンズ	酒井 順子
アンサーゲーム	五十嵐 貴久	僕が夫に出会うまで	七崎 良輔
水辺のブッダ	ドリアン助川	橋本治 追悼総特集	河出書房新社
暁天の星	葉室 麟	介護の流儀	曾野 綾子
ひよこ太陽	田中 慎弥	まど・みちおという詩人の正体	大橋 政人

## 寄贈本について

図書館では市民のみなさまからの本の寄贈については、出版から5年以内の本に限ってお受けしています。

破損や汚損などがあり状態の劣悪な本や百科事典の寄贈はお受けしていません。

登別や北海道・アイヌに関する資料は出版年に関わらず積極的にお受けしています。

寄贈をお考えの際は、図書館に本を持ち込まれる前に、お電話でご連絡ください。



## 図書館カレンダー 令和元年(2019年) 9月

日	月	火	水	木	金	土
1	2 本館休館	3	4	5 分館休館	6	7 映画会
8	9 本館休館	10	11 ブックスタート	12 分館休館	13	14 えほんのへやのおはなし会
15	16 敬老の日 本館休館	17 祝日振替 本館休館	18	19 分館休館	20	21
22	23 秋分の日 本館休館	24 祝日振替 本館休館	25 ライブラリー スタート おはなし会	26 分館休館	27 図書整理日 本館休館 分館休館	28 おはなしほけっと
29	30 本館休館	10/1	10/2	10/3 ブックスタート 分館休館	10/4	10/5 映画会

## 図書館施設案内

	本館 こぐま号	アーニス分館	鷺別配本所	登別配本所	温泉配本所
住所	中央町5-21-1	中央町4-11	鷺別町3-3-4	登別東町3-6-7	登別温泉町58-1
電話	85-4324	81-2182	86-8823	83-1131	84-2068
休館日	月曜日・祝日・年末年始 本館：最終金曜日 こぐま号：日曜日	木曜日 最終金曜・年末年始	年末年始のみ		なし
開館時間	10:00~18:00 (木曜のみ19:30)	10:00~20:00	9:00~18:00 (昼休みあり)	9:00~17:30 土日祝 17:00	9:00~15:00